

## NP再考—セッション計画

文責 神村富美子

NPのセッション計画は半構造化されたものです。半構造化というのは簡単にいうと、半分は自由で半分はお約束があるものです。

ではNPのセッションにはどんなお約束があったでしょうか？

お約束1：一回ごとのセッションに、オープニング・主部・結びがあります。

お約束2：オープニングでは一人一言、アイスブレイカー（もしくはウォーミングアップ）があります。

お約束3：主部では、参加者の関心事を学ぶことができます。そして、その学びは体験学習サイクルにのっとって構成され、参加者は「応用」というお土産を得ることができます。

お約束4：結びでは、今日何を学んだについて、ファシリテーターがまとめを行います。

そして、参加者が一人一言で、今日の感想や学びが役立ったかどうかについて、発言する機会が与えられます。

こうしたお約束で決められた部分とファシリテーターが自由にアクティビティを選ぶという部分があります（これが半構造化です）。どうしてこうなっているかという、ファシリテーターと参加者の双方を守り、効果的な学びの質を保つためです。

ファシリテーターは、いろいろなバックグラウンドをもっています。グループワークを専門的に学んでいない人もたくさんいます。それでも、NP精神と半構造化というセッション計画にのっとることで、グループの成長や学びを保障することができます。

また参加者も内気な人、前回子どもの病気で休んでしまった人でも、安心して学べるようになっています。

ときどき学びの真ん中でゲームをする人がいますが、NPは学びのためのグループなので、その主旨をよく考えてみましょう。通常ゲーム的なものは、オープニングで導入として行えば十分です。日本人の参加者は、他の親ととても話したいと望んでいます。話し合える時間をしっかり確保してあげましょう。

地域にNPの自主勉強会があれば、みんなでセッション計画を出し合って学びあうのもいいかもしれません。CCCでは、実践編としてセッション計画などの見直しなどをするクラスもあります。またフォーラムでも、セッション計画について学べるワークショップがあります。もう一度振り返ってみたい方は、ぜひご参加ください。